

第14集【続】おはなし読解ワーク:初級編

ことばのテーブル100枚プリント:第14集「続・おはなし読解ワーク:初級編」をお買い上げありがとうございました。このプリント集は家庭での言語学習用教材として作成されたものです。ひらがなの単文レベルでの音読解が成立しはじめたお子さんの文章読解練習としてお使いいただけます。

【使い方】

一般の文章読解問題と同様です。「おはなし」部分を読み、あとの設問に解答・記入してください。

【構成】 ※「各話の解説」参照

- 全部で10のテーマのおはなしで、構成されています。(全101ページ) ●問題はすべてタテ書きです。
- 各話は、文章の長さ・文字表記・文章内容などの点で、平易なものから徐々に難しいものへと、配置されています。

【対象】 この教材を実施するためには、お子さんに以下の能力が必要です。

①文字の音読解に関して

1話目開始の時点では、少なくとも、ひらがな単文レベルでの音読解能力が必要です。プリントが進むにつれて、カタカナの音読解能力も求められます。漢字には、すべてルビが振られています。

②文字の書字に関して

単語レベル以上のひらがな・カタカナ書字能力が、解答記入のために必要ですが、問題本文から抜き書きできる答えが多いので、最低限、文字の模写が可能であれば取り組むことができます。

③疑問詞の理解

日常会話の能力として、設問で用いられている「なに」「いつ」「だれ」「どこ」など、いわゆる5W1Hの疑問詞の理解が必要です。しかし逆に、文章読解を通して、これらの疑問詞理解を促して行くことも可能です。

※ことばのテーブルでは、お子さんの能力が上記の条件を満たした時点で、この教材を開始しています。

【この教材の特色】

- ①平易な表現と内容 :就学前のお子さんでも概ね理解できるような、表現・内容のお話を収録しています。
- ②種々のテーマのお話を収録 :それぞれのテーマに特徴的な、文構成や語句に接することを目的としています。
- ③日常会話表現の使用 :質問文は、「だれと いったの？」など、日常会話での疑問表現を多く用いています。なじみ易さと、日常会話表現の学習を目的としています。
- ④ことばのテーブルによる創作話:全10話とも、ことばのテーブルで創作したお話です。

【文章読解以外の利用方法として】 ※ことばのテーブルでは、以下のような練習にも使用しています。

- ①聴解練習 :本文を読み聞かせ、設問の答えを言ってもらいます。
- ②書写・書取練習 :問題本文の書き写し、または聞き書きの練習です。

☆ことばのテーブル100枚プリント について

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルでは、この教材集を家庭で行うホームワーク課題として使用しています。毎週の指導ごとに、他のプリントとあわせ1枚ずつこれらの教材(プリント)をお渡しして、次回までのホームワークとしています。

そのような多くの繰り返し、大切だと思われるお子さんを対象に作られた教材集です。

※この教材集に対するご意見・ご感想をお聞かせください。

●企画・製作 言語学習指導 葛西ことばのテーブル

●著者 三好純太(物語・イラスト共) ○印刷 (株)コア
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 5-1-3 第6山秀ビル 301
TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail: QYT07571@nifty.ne.jp
URL <http://homepage2.nifty.com/kotobanotable/>
郵便振替 00130-2-116343

★葛西ことばのテーブルは、言語障害や学習障害のお子さんや成人のかたのための指導室です。